

SUNTORY HALL
SUMMER
FESTIVAL

サントリーホール サマーフェスティバル 2023

ザ・プロデューサー・シリーズ

三輪眞弘がひらく



SUNTORY HALL



プロジェクト型コンサート En-gawa
サントリーホール ブルーローズ (小ホール)

プロジェクト・ディレクション

KITA

ミュージック・ディレクション

マルガサリ

出演

浅野瑞穂

川村亘平斎

KULU-KULU

佐久間 新

だじゃれ音楽研究会

野村 誠

パラグナ・グループ

マルガサリ

三輪眞弘

ほか

En-gawa Music in the Universe

ありえるかもしれない
ガムラン

Music in the Universe
サントリーホール 大ホール

作曲

ホセ・マセダ

小出稚子

野村 誠

藤枝 守

宮内康乃

演奏

伊崎善之

植川 縁

さとうじゅんこ

砂原 悟

相愛大学打楽器専攻

(小野竜聖 川久珠寿 鈴木彩葵

高 眞炫 中谷 潤 花田 零

星山理奈)

だじゃれ音楽研究会

つむぎね

東京少年少女合唱隊

中川日出鷹

野村 誠

マルガサリ

ほか

En-gawa

Music in the Universe

8/25 金

13:00-20:00

26 土

13:00-20:00

27 日

10:00-17:00

27 日

17:00-

ザ・プロデューサー・シリーズ

セット券 8/24 オープニング・8/25・26・27 En-gawa
+8/27 Music in the Universe

8,000円 ※限定50セット

※セット券はサントリーホールチケットセンター電話・窓口
のみ取り扱い。1回のお申込みにつき2セットまで。

※「オープニング」はセット券購入者の特典としてご入場
いただける公演です。ブルーローズにて8月24日(木)

18:00より1時間程度の開催を予定しています。

主催：サントリーホール 制作協力：東京コンサーツ

プロジェクト型コンサート En-gawa

1日入場パス [ブルーローズ(小ホール)]
8/25・26・27 各日(入退場自由)

前売一般2,000円/学生1,000円
当日窓口一般2,500円/学生1,500円

※場内が規定の人数を超えた場合には、一時的に
入場を制限させていただく場合があります。

※前売券は、各公演日前日まで販売いたします。

サントリーホールディングス株式会社は公益財団法人サントリー芸術財団のすべての活動を応援しています。

Music in the Universe

指定席 [大ホール]

一般4,000円/学生1,000円

@SuntoryHall_PR

@suntoryhallJAPAN

サマーフェスティバル 2023 特集ページはこちらから

◎チケット好評発売中◎

●サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
(10:00~18:00、休館日を除く)

●サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB
suntoryhall.pia.jp

●サントリーホール窓口(10:00~18:00、休館日を除く)ほか
※学生券はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ
取り扱い。25歳以下、来場時に学生証提示要。1公演につき、
お一人様1枚限り。

※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。

※出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。

En-gawa

アート・コレクティブ KITA プロジェクト・ディレクション

アナスタシア・ユアニタ、アディティヤ・ブトラ・ヌルファジ、北澤潤、シティ・サラ・ライハナ、津田翔平、能作淳平、ミヤタユキ、ムニフ・ラフィ・ズディ

ジャワガムラン マルガサリ ミュージック・ディレクション

恵美須屋直樹、大井卓也、黒川岳、谷口かな、中川真、西真奈美、西村彰洋、森山みどり

ホールに出現する「ひらかれた家」。
国と音楽のほとりを漂う、幕間のない三日間。

サントリーホールにガムランとアートプロジェクトの時間が一体となった、ありえるかもしれないコンサートの場「En-gawa」があらわれます。En-gawaでは「ひらかれた家」を中心にホールの中が広場となり、自由になそこを散策することができます。音楽が鳴ると行商や屋台と共に街の顔ぶれが集まるガムランの故郷、中部ジャワの一角に居るような雰囲気は、昔の日本の縁側に流れる時間を想起させるかもしれません。広場のあちこちにある屋台や露店を楽しみながら、演奏が始まる時間を待ちましょう。

この三日間に幕間はありません。常にひらかれている時間に身を委ねてください。

En-gawaイメージ図 [ブルーローズ(小ホール)]

イラスト: KITA

縁側のコンサート

大ホールで作品を発表する作曲家や、さまざまなジャンルの特別ゲストによるパフォーマンスと、ガムラン演奏によるコラボレーション。おおよその時間になると広場で自然とはじまる、ゆるやかで、ひらかれたコンサートです。

8/25 金 ゲスト：野村誠、だじゃれ音楽研究会

野村誠「ガムランによる即興クリエイション」

13:30-15:00 頃 大ホールでのコンサートでも作曲・指揮を務める音楽家、野村誠による即興ガムラン公開ワークショップ。即興舞踊の達人ベン・スハルト、作曲家のスタント、メット・チャイルル・スラメットなど、インドネシアのクリエイターたちの方法を参照しつつ、様々な音の実験を行います。

アートプロジェクトを巡るクロストーク

16:00-17:00 頃 ジョグジャカルタを拠点に活動し、En-gawaのアートディレクションを担当するコレクティブ「KITA」の北澤潤と、東京・千住を拠点とするアートプロジェクト「千住だじゃれ音楽祭」のディレクターを務める野村誠による対話。インドネシアの最新のアート事情も聞けるかもしれません。

「ありえないかもしれないガムラン・コンサート」

18:00-18:45 頃 野村誠と、東京・千住を拠点に活動する音楽グループ「だじゃれ音楽研究会」によるガムラン・コンサート。ガムランの古典曲は一切やりません。ガムランの可能性を様々な方向から味わう実験的な音楽会です。

ナイトプログラム「ガムラン・アセンブリー」 ホスト：三輪眞弘

En-gawaの夜会。各日のゲストやプロデューサーとガムランを囲みながら、夏の夜の座談会「ガムラン・アセンブリー」を開催します。

第1夜 8/25 金 19:00~20:00

第2夜 8/26 土 19:00~20:00

※この他にも即興的な公演やイベントが行われる可能性があります。※ナイトプログラムの当日ゲストや、常設プログラムの詳細については、サマーフェスティバルの特集ページやSNSで随時発表していきます。



8/26 土 ゲスト：バラグナ・グループ、マルガサリ、浅野瑞穂、KULU-KULU

デモンストレーション&ミニレクチャー、体験コーナー

13:00-16:00 頃 「バラグナ・グループ」と「マルガサリ」による楽器体験コーナー。スンダ(ジャワ島西部)のガムラン・ドゥグンと、ジャワ島中部のジャワ・ガムラン。2つのガムランに実際に触れて、聴いて、体験してみましょう。

マルガサリによる創作パフォーマンス公演

16:00-17:00 頃 大ホールでのコンサートのほか、En-gawaのミュージック・ディレクションを担当するジャワ・ガムラングループ、マルガサリの公演。「ガムランを用いたあらゆる表現活動に取り組む」ことをテーマに活動を続けてきたマルガサリによる、実験的なパフォーマンスを上演します。

バラグナ・グループによるコンサート

17:30-18:45 頃 東京を拠点にガムラン・ドゥグンの演奏活動を行っているバラグナ・グループにより、ルー・ハリソンやジョン・ケージといったアメリカ実験作曲家の作品とともに、藤枝守の組曲『ガムラン曼荼羅』が浅野瑞穂の舞踊をともなって演奏されます。En-gawaに「響きの曼荼羅」が出現します。

KULU-KULUによるチャルンの演奏

時間不定 中部ジャワ・バニユマス地方の竹のガムラン「チャルン」のグループ「KULU-KULU」による演奏を行います。

8/27 日 ゲスト：佐久間新、川村亘平斎

佐久間新によるダンスパフォーマンス

12:00-13:00 頃 伝統的なジャワ舞踊をベースに、新しいダンスの創作や、障害のある人をはじめ様々な身体をもつ人たちの踊りの取り組みを続けてきた舞踊家、佐久間新によるパフォーマンス。空間全体をつかったダンスを通じ、En-gawaの場に秘められた可能性を引き出します。(本プログラム以外にも、25~27日の3日間、即興的なダンスパフォーマンスが行われる可能性があります)

川村亘平斎による影絵パフォーマンス

14:00-16:00 頃 インドネシア・バリ島の伝統的な影絵芝居「ワヤン・クリット」を現代的にとらえなおし、新たな表現を生み出している影絵師/音楽家の川村亘平斎による影絵パフォーマンス。En-gawaに現れる巨大なスクリーンを舞台に、音楽と影が織りなす不思議な世界を生み出します。

常設プログラム (8/25~27)

「越境屋台」と「ポップアップ露店」

境界を越えてサントリーホールに迷いこんだ屋台と、どこからかポップアップしてきた路上の露店。どんなメニューや商品が並んでいるのかは当日までのお楽しみ。En-gawaに関わる音楽家やアーティストたちの掘り出し物に出会えるかもしれません。

三輪眞弘による「ありえるかもしれない、ガムラン」

本企画プロデューサー、作曲家・三輪眞弘によるパフォーマンス上演やマーティン・リッチズとの共同制作によるサウンドインスタレーション展示を行います。またEn-gawa各プログラムの合間に「礼拝」や「修行」、「時報鐘」なども妄想されています。

8/27 大ホール

17:00 開演 (16:20 開場)

Music in the Universe



ホセ・マセダ (1917~2004)

『ゴングと竹のための音楽』(1997)

指揮：野村誠 ガムラン：マルガサリ

箏笛：伊崎善之

コントラファゴット：中川日出鷹

打楽器：相愛大学打楽器専攻 (小野竜聖 川久珠寿)

鈴木彩葵 高真炫 中谷満 花田 零 山埋奈奈

合唱団：東京少年少女合唱隊



小出稚子 (1982~)

『Legit Memories』(2023)【世界初演】

ガムラン：マルガサリ 歌：さとうじゅんこ

サクソ：植川 緑



藤枝 守 (1955~)

『ピアノとガムランのためのコンチェルト no.2』

(2023)【世界初演】

ガムラン：マルガサリ ミニピアノ：砂原 悟



野村 誠 (1968~)

『タリック・タンバン』(2023)【世界初演】

ガムラン：マルガサリ+野村 誠ほか

角瓶/綱引き/相撲 etc.: だじゃれ音楽研究会 ほか



宮内康乃 (1980~)

『SinRa』(2023)【世界初演】

ガムラン：マルガサリ

声：つむぎね